

2 白鳥学区防犯パトロール隊（熱田区）

多発犯罪対策自主防犯活動推進事業

実施結果報告書

1 団体名	白鳥学区防犯パトロール隊
2 事業名	住宅対象侵入盗撲滅作戦
3 事業概要	<p>住宅対象侵入盗対策のための事業として、防犯対策の活発化、防犯啓発、地域連携、犯罪防止を目的とした環境整備等、多角的に防犯活動を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">1 パトロール体制の強化 夜間だけではなく昼間のパトロールを実施2 住宅対象侵入盗を撲滅するための啓発イベントの企画・実施 大型商業施設や駅前での防犯啓発の実施3 地元企業と連携した防犯活動の実施 企業の敷地内に防犯のぼり旗を設置し、社用車等にマグネットシートを貼付していただいた。4 防犯カメラのレンタル設置による犯罪抑止・効果検証 防犯カメラを試行的に白鳥コミュニティセンターに設置し、効果を検証した。
4 事業実施結果	<p>住宅対象侵入盗対策事業について、下記のとおり実施した。</p> <p>(1) パトロール体制の強化</p> <p>白鳥学区防犯パトロール隊は、これまで毎月1回、夜間における自主防犯パトロールを実施していた。</p> <p>住宅対象侵入盗の多くが空き巣であり、家人が不在となる昼間の犯行が考えられることから、昼間時間帯における安全性の強化を図る必要があると考えた。</p> <p>そこで、白鳥学区防犯パトロール隊のパトロールを、夜間のみのパトロールから、昼間のパトロールも増やすことで住宅対象侵入盗の発生防止を図った。</p>



昼間帯の防犯パトローラー 1



昼間帯の防犯パトローラー 2

(2) 住宅対象侵入盗を撲滅するための啓発イベントの企画・実施

秋の安全なまちづくり運動期間中などに多数の来店者が望める大型商業施設において、熱田区役所や熱田警察署のほか、地元企業の協力を得て、来店者を中心に防犯チラシをはじめ、ポケットティッシュ、ワンタッチシマリ等の啓発品を配布し、ツーロックの必要性など防犯意識の高揚を図った。

また、名鉄神宮前駅付近において、啓発品を配布し、注意を呼びかけた。

9月27日(火)

※商業施設での啓発イベント実施日

10月13日(木)(秋の安全なまちづくり運動期間中)

11月24日(木)

12月21日(水)

4 事業実施
結果



カーマ21・あかのれん前の活動



アオキスーパー前の活動



アオキスーパー前の活動



名鉄神宮前駅周辺の活動

また、「敬老の日」を祝うイベント(9月18日(日))においても、鍵かけの必要性は無論、ツーロックの効果を訴えた。



敬老会の様子

(3) 地元企業と連携した防犯活動の実施

白鳥学区内に存する企業3社に対し、空き巣被害防止に関する「のぼり旗」の設置を行ったほか、社用車の側面に同被害防止に関する「マグネットシート」を取り付けて走行する等、学区と企業が連携して地域ぐるみで防犯情報の発信を行い、住宅対象侵入盗被害防止に関する啓発活動を実施した。



薬剤師会での活動－1



薬剤師会での活動－2



名古屋メッキでの活動－1



名古屋メッキでの活動－2



三菱自動車での活動－1



三菱自動車での活動－2

(4) 防犯カメラのレンタル設置による犯罪抑止・効果検証

防犯カメラについては、犯罪の解決に役立つことは勿論のこと、防犯カメラを設置することで犯罪の抑止につながる等、防犯カメラの存在が社会的に認められつつあり、駅や店舗、金融機関など、多くの施設で防犯カメラが設置されている状況にある。今回、事前にアンケート調査を行い、住民に対し防犯カメラの必要性を訴えて理解を求め、試行的に白鳥コミュニティセンターの軒先に街頭防犯カメラを設置した。



事業終了後には、再度アンケート調査を行い、その結果防犯カメラの継続設置を望む声が多ければ事業終了後に正式に設置することとする。

5 成果と課題
及び今後の
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

今回の事業を行ったことで、自分たちの街を守るための防犯パトロール活動やイベント等による情報発信、地域と地元企業との連携など、これら事業の必要性のほか、防犯カメラ設置による地域住民の安心感の醸成等、参加した隊員をはじめ、地元住民の防犯意識の高揚につながったと思われる。

今回の活動が引き続き行われるように、士気を高くして、今後も活動していく必要があると思われる。

(2) 今後の取組み

地域の犯罪発生状況等の把握や情報発信を行い、地域住民に対する鍵かけやツーロックの意識付けをより強くし、さらに継続したパトロールにより、住宅対象侵入盗の減少を図る。